

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トスネット

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	4,731	3.6	283	9.9	337	12.8	179	25.1
25年9月期第2四半期	4,566	0.7	258	△11.2	299	△4.8	143	22.1

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 185百万円 (△11.1%) 25年9月期第2四半期 208百万円 (35.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	42.43	—
25年9月期第2四半期	33.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	5,760	2,577	44.7
25年9月期	5,684	2,455	43.2

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 2,577百万円 25年9月期 2,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	4.7	500	4.1	580	3.3	320	23.5	75.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	4,232,600 株	25年9月期	4,232,600 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	2,443 株	25年9月期	2,365 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	4,230,160 株	25年9月期2Q	4,230,245 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にも基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
（継続企業の前提に関する注記）	11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	11
（セグメント情報等）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や経済対策への期待感から過度の円高が是正され、株価の回復の兆しによる企業収益の持ち直しが見られました。一方、政府が消費税率引き上げに対する経済対策とデフレ脱却に向けた政策の実施を進め、雇用確保ならびに雇用改善の傾向は今後のアベノミクスの行方を大きく左右する要素として注目されていますが、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当警備業界におきましては、警備サービスに対するニーズは底堅いものがあるものの、同業他社との受注競争の激化や警備品質確保のためのコストアップ要因等を抱え、引続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、雑踏警備及び施設警備、列車見張り警備の受注拡大等、当社グループの中核となる事業の展開を図り、業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は4,731百万円（前年同四半期比3.6%増）、営業利益は283百万円（前年同四半期比9.9%増）、経常利益は337百万円（前年同四半期比12.8%増）、四半期純利益は179百万円（前年同四半期比25.1%増）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は4,147百万円（前年同四半期比7.6%増）、セグメント利益は192百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、警備業者間の価格競争は依然として厳しい状況にありますが、震災復興需要への対応及びイベント警備、駐車場警備等へ積極的に取り組み、当部門の売上高は2,758百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置づけ、首都圏を中心に積極的に拡大を図っておりますが、当部門の売上高は1,005百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、比較的利益率が高いことから当社グループの注力商品の一つと位置づけておりますが、当部門の売上高は283百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び人材派遣業等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は105百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期は1百万円の利益）となりました。

(メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。メーリングサービス事業の売上高は269百万円（前年同四半期比14.1%減）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期は2百万円の利益）となりました。

（電源供給事業）

電源供給事業は、各種イベント及びコンサートの仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源提供業務を行っております。電源供給事業の売上高は209百万円（前年同四半期比25.7%減）、セグメント損失は7百万円（前年同四半期は44百万円の利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ76百万円増加し、5,760百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が239百万円増加、受取手形及び売掛金が97百万円減少したこと等によるものであります。

負債は前連結会計年度末と比べ45百万円減少し、3,183百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が86百万円減少したこと等によるものであります。純資産は前連結会計年度末と比べ122百万円増加し、2,577百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が116百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は44.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して239百万円増加し、1,697百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は255百万円（前年同四半期は271百万円の収入）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額196百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益337百万円、減価償却費37百万円、のれん償却額51百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は16百万円（前年同四半期は45百万円の使用）となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入9百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は71百万円（前年同四半期は94百万円の使用）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出100百万円があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,457,893	1,697,337
受取手形及び売掛金	227,143	129,450
警備未収入金	945,561	956,634
仕掛品	900	1,779
原材料及び貯蔵品	31,415	29,459
繰延税金資産	32,642	33,764
その他	71,050	65,813
貸倒引当金	△3,795	△3,898
流動資産合計	2,762,812	2,910,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	308,692	300,608
土地	994,345	994,345
その他(純額)	213,348	203,120
有形固定資産合計	1,516,385	1,498,073
無形固定資産		
のれん	726,518	680,218
その他	27,658	36,102
無形固定資産合計	754,176	716,320
投資その他の資産		
投資有価証券	475,841	460,376
投資建物(純額)	8,995	8,415
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,037	3,037
繰延税金資産	33,762	33,336
その他	68,601	71,557
貸倒引当金	△11,526	△13,406
投資その他の資産合計	650,797	635,402
固定資産合計	2,921,360	2,849,797
繰延資産		
創立費	—	608
繰延資産合計	—	608
資産合計	5,684,172	5,760,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	810,000	910,000
1年内返済予定の長期借入金	189,893	190,567
未払法人税等	198,200	152,200
未払消費税等	64,820	70,213
未払費用	561,881	542,035
賞与引当金	39,770	50,848
その他	192,294	170,514
流動負債合計	2,056,859	2,086,379
固定負債		
長期借入金	971,784	885,097
退職給付引当金	177,820	180,455
その他	22,144	31,097
固定負債合計	1,171,749	1,096,650
負債合計	3,228,609	3,183,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	524,680	524,680
資本剰余金	508,300	508,300
利益剰余金	1,345,424	1,462,035
自己株式	△669	△711
株主資本合計	2,377,735	2,494,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,828	83,412
その他の包括利益累計額合計	77,828	83,412
純資産合計	2,455,563	2,577,716
負債純資産合計	5,684,172	5,760,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	4,566,159	4,731,758
売上原価	3,274,657	3,345,257
売上総利益	1,291,502	1,386,501
販売費及び一般管理費	1,033,225	1,102,575
営業利益	258,277	283,925
営業外収益		
助成金収入	18,447	9,236
受取賃貸料	11,474	10,951
受取出向料	10,263	9,461
持分法による投資利益	8,870	15,902
その他	12,384	22,537
営業外収益合計	61,440	68,088
営業外費用		
支払利息	13,499	11,686
投資有価証券運用損	5,134	1,677
その他	1,997	1,380
営業外費用合計	20,630	14,744
経常利益	299,087	337,269
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
会員権売却益	2,850	—
特別利益合計	2,851	—
特別損失		
固定資産廃棄損	7,190	46
固定資産売却損	—	36
特別損失合計	7,190	83
税金等調整前四半期純利益	294,748	337,185
法人税、住民税及び事業税	159,480	161,557
法人税等調整額	△8,200	△3,840
法人税等合計	151,280	157,717
少数株主損益調整前四半期純利益	143,468	179,468
四半期純利益	143,468	179,468

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	143,468	179,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,665	5,583
その他の包括利益合計	64,665	5,583
四半期包括利益	208,133	185,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,133	185,052

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	294,748	337,185
減価償却費	29,885	37,849
のれん償却額	51,350	51,274
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,615	2,332
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,495	10,478
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,448	2,635
受取利息及び受取配当金	△1,838	△7,549
支払利息	13,499	11,686
持分法による投資損益（△は益）	△8,870	△15,902
投資有価証券運用損益（△は益）	5,134	1,677
会員権売却損益（△は益）	△2,850	—
有形固定資産売却損益（△は益）	—	36
有形固定資産廃棄損	155	46
売上債権の増減額（△は増加）	73,988	122,645
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,339	1,558
前払費用の増減額（△は増加）	12,127	16,950
未収入金の増減額（△は増加）	1,270	△7,791
未払金の増減額（△は減少）	△8,342	△33,218
未払費用の増減額（△は減少）	△27,918	△75,912
預り金の増減額（△は減少）	△3,096	△3,257
その他	△13,975	3,752
小計	423,935	456,478
利息及び配当金の受取額	1,830	7,595
利息の支払額	△13,516	△11,821
法人税等の支払額	△141,134	△196,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	271,115	255,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,571	△11,889
投資有価証券の売却による収入	—	9,990
投資有価証券の払戻しによる収入	1,954	1,020
有形固定資産の取得による支出	△43,261	△12,037
有形固定資産の売却による収入	—	28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	32,691
敷金の差入による支出	△1,721	△772
その他	△412	△2,665
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,013	16,365

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	99,790
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△97,538	△100,310
配当金の支払額	△30,046	△63,005
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,511	△8,342
その他	△19	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,116	△71,911
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,986	200,211
現金及び現金同等物の期首残高	1,430,719	1,457,893
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,505	39,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,602,211	1,697,337

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年10月1日至平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	3,853,826	116,642	313,118	282,572	4,566,159
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,651	4,678	—	—	9,330
計	3,858,478	121,320	313,118	282,572	4,575,489
セグメント利益	188,582	1,406	2,625	44,902	237,517

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年10月1日至平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
外部顧客への売上高	4,147,095	105,644	269,046	209,971	4,731,758
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,551	5,846	—	—	31,397
計	4,172,646	111,491	269,046	209,971	4,763,156
セグメント利益又は損失(△)	192,696	△1,783	△3,824	△7,967	179,120

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。